ＵＳＢ スマートメディア 、コンパクトフラッシュ 、フロッピーディスク　ドライブ

ＵＳＢ トライメディアリーダ

YD-8V00

ユーザーズマニュアル

Y-E DATA®

149260-01 Rev. A1

YD-8V00 ご使用上の重要なご注意

注意

- **ドライバソフトをインストールする前に、トライメディアリーダをパソコンに接続しないように、ご注意下さい。**
- **トライメデイアリーダのＵＳＢケーブルを抜き差しするとき、本体パソコンの電源をオンオフする時は、あらかじめ全てのメディアを取り出して下さい。**

禁止

- **分解、改造はしないで下さい。故障、火災、感電の原因となります。**
- **水気の多い場所での使用、保管は行わないで下さい。本製品内部に液体がはいると、故障、火災、感電の原因となります。**
- **対応メディア以外は、挿入しないで下さい。硬貨、クリップ等の金属片を差し込みますと、故障、火災、感電の原因となります。**
- **ドライブユニットのランプが点灯している状態で、メディアを取り出さないで下さい。**
- **本製品は、一般的電器機器に使用されることを意図して設計されております。故障や誤動作が、人命を脅かしたり、人体に危害を及ぼす恐れのある特別な品質、信頼性を要求される装置（航空宇宙機器、原子力制御システム、交通機器、輸送機器、産業ロボット、燃焼機器、各種安全装置、生命維持装置等）には、使用しないで下さい。**

VCCI に基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

その他のご注意

本製品使用中に、本製品やフロッピーディスク、スマートメディア™、コンパクトフラッシュ 等の事故、故障等により記録データの破壊、消失が生じた場合の損害については補償いたしかねます。また、本製品の使用により、お客様のご期待に添わない結果となった場合にも、その結果につきましては責任を負いかねます。

Apple、 Mac、 Macintosh は、Apple Computer 社の登録商標です。
コンパクトフラッシュ、CompactFlash は、SanDisk Corporation 社の登録商標です。
IBM は、 IBM Corporation 社の登録商標です。
Microsoft Windows は、Microsoft Corporation 社の登録商標です。
スマートメディア、SmartMedia は、株式会社 東芝の登録商標です。
Y-E Data は、株式会社 ワイ・イー・データの登録商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または、登録商標です。

目次

1. 概要 4
1.1. トライメディアリーダ（ＹＤ－８Ｖ００）の特徴 4
1.2. 動作環境 4
1.3. 付属品 5
1.4. サポートするメディア 5
1.5. 各部の名称 6
1.6. 操作上のご注意 6
2. Macintosh でお使いの場合 7
2.1. ドライバソフトウエアのインストール手順 7
2.2. 操作方法 9
3. Windows PC でお使いの場合 12
3.1. Windows 98 (SE) / Windows Millennium Edition (Me)でのインストール 12
3.2. Windows 2000 でのインストール方法 17
3.3. Windows での操作方法 21
4. 仕様 23
4.1. 機械仕様 23
4.2. 電気仕様 23
4.3. 環境仕様 23
5. 取扱い上のご注意 24
6. 技術サポートの問い合わせ先 24

1. 概要

ＵＳＢトライメディアリーダ（ＹＤ－８Ｖ００）は、デジタルカメラ等でつかわれている、カードタイプの記憶メディアであるスマートメディア 、コンパクトフラッシュ と、フロッピーディスクの３つのメディアを読み書きできるＵＳＢ接続のドライブです。

1.1. トライメディアリーダ（ＹＤ－８Ｖ００）の特徴

1) スマートメディア 、コンパクトフラッシュ 、フロッピーディスクの３種類のメディアが取り扱えます。
2) パソコンを再起動することなく、ＵＳＢケーブルの接続、取り外しが行えます。
3) Macintosh、 Windows 98、 Windows Millennium Edition、 Windows 2000 と、幅広い環境でお使いになれます。
4) USB ケーブルからの電源供給のみで動作しますので、ＡＣアダプタ等は必要ありません。
5) IBM 社の Microdrive がお使いになれます。

1.2. 動作環境

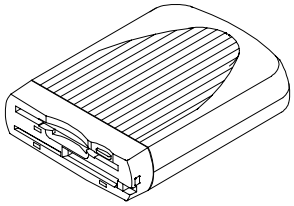
PC	OS (オペレーティングシステム)	備考
Macintosh	Mac OS 8.6 Mac OS 9.0 Mac OS 9.0.4	iMac Power Mac G3 / G4 iBook
Windows	Windows 98 Windows 98 Second Edition (SE)	
	Windows Millennium Edition (Me)	
	Windows 2000	

備考：

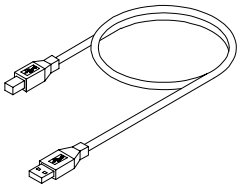
1) トライメディアリーダは、Mac OS 8.1 および Mac OS 8.5.1 では動作致しません。お使いになるには、Mac OS 8.6 以降にアップデートして下さい。OS のアップデートについては、以下のアップルコンピュータ社の Web サイトを参照下さい。
   http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/macos8.6_update.html
2) Mac OS 9.0.2 および Mac OS 9.0.3 では、USB 機器を接続した状態で電源をＯＮにすると、スタート時にハングアップする不具合が報告されています。該当する OS をお使いの方は、Mac OS 9.0.4 以降にアップデートして下さい。この不具合についての詳細は、以下のアップル社の Web サイトにある、テックインフォライブラリ(ID 25139JC)を参照下さい。
   http://til.info.apple.co.jp/cgi-bin/WebObjects/TechInfo.woa/1/wa/showTIL?id=25139JC

1.3. 付属品

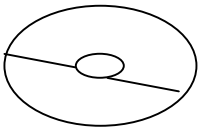
トライメディアリーダ本体



USB ケーブル



Driver CD-ROM



および、本ユーザーズマニュアル

1.4. サポートするメディア

1) フロッピーディスク

メディア	フォーマット	サポート	備考
2HD	1.44 MB DOS フォーマット	リード、ライト フォーマット	Windows Macintosh
	1.4 MB Mac フォーマット	リード、ライト フォーマット	Macintosh のみ
	1.7 MB Microsoft DMF ＊1	リードのみ	Windows のみ
	1.25 MB DOS フォーマット (NEC PC-9801) ＊2	リード、ライトのみ	Windows のみ
	1.21 MB DOS フォーマット (東芝 ダイナブック)	リード、ライトのみ	Windows のみ
2DD	720 KB DOS フォーマット	リード、ライト フォーマット	Windows Macintosh
	640 KB DOS フォーマット	リード、ライトのみ	Windows のみ
	800 K Mac フォーマット	**未サポート**	

注意：

*1 Windows 95 のインストールフロッピー等で使われている特殊フォーマットです。

*2 富士通FMR等、MS-DOS Ver 2.11 以前の MS-DOS で書かれた一部のフロッピーディスクは、Windows 98 では読み取れません。

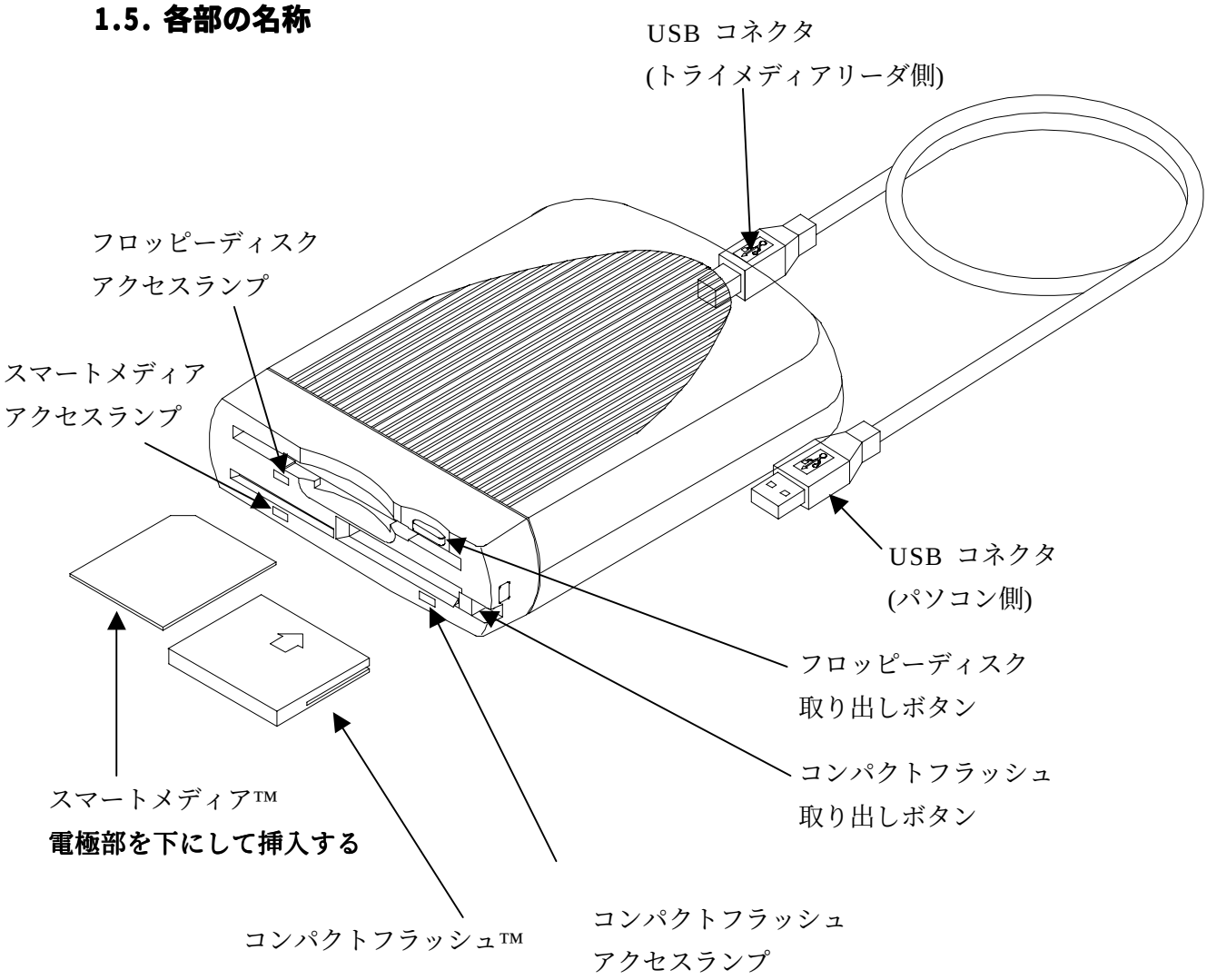
2) スマートメディア

DOS フォーマットされた 1 MB から 64 MB のカード (128 MB は、サポート予定)
3.3V タイプのみサポートしています。５Ｖタイプはお使いになれません。

3) コンパクトフラッシュ

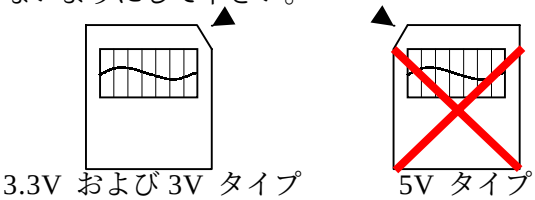
DOS フォーマットされた、Type I および Type II (IBM Microdrive)カード
ストレージカードのみで、モデム、LAN、PHS カード等はお使いになれません。

1.5. 各部の名称



1.6. 操作上のご注意

1) USB ケーブルを接続する前に、ドライバソフトウエアをインストールして下さい。
2) 3.3Vおよび 3V タイプのスマートメディア のみサポートしています。５Vタイプは、挿入しないようにして下さい。



3.3V および 3V タイプ　　5V タイプ

3) スマートメディア™を挿入するときは、金色の電極部が下側になるようにして下さい。
4) スマートメディア 、コンパクトフラッシュ は、奥まできっちり挿入して下さい。
5) IBM 社のマイクロドライブをお使いになる場合は、単体で使用して下さい。マイクロドライブと他のメディアを同時に挿入しますと、電力が不足してエラーの原因になります。

2. Macintosh でお使いの場合

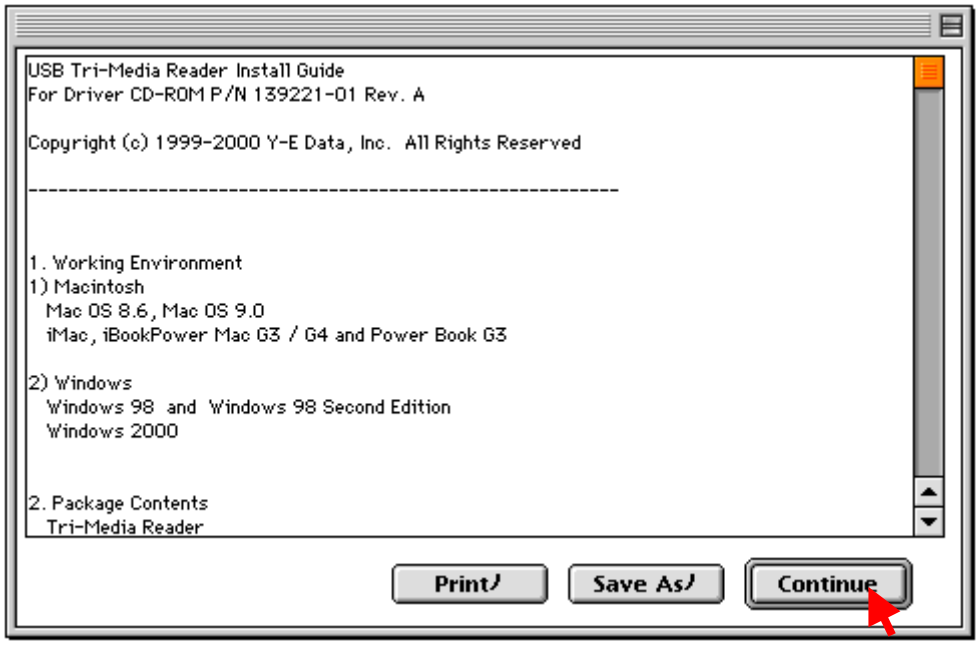
2.1. ドライバソフトウエアのインストール手順

トライメディアリーダのＵＳＢケーブルを Macintosh に接続する前に、ドライバソフトウエアをインストールする必要があります。インストーラは、英語バージョンですので、インストール中の表示は英語になりますが、ドライバソフトウエア自体は日本語に対応しています。

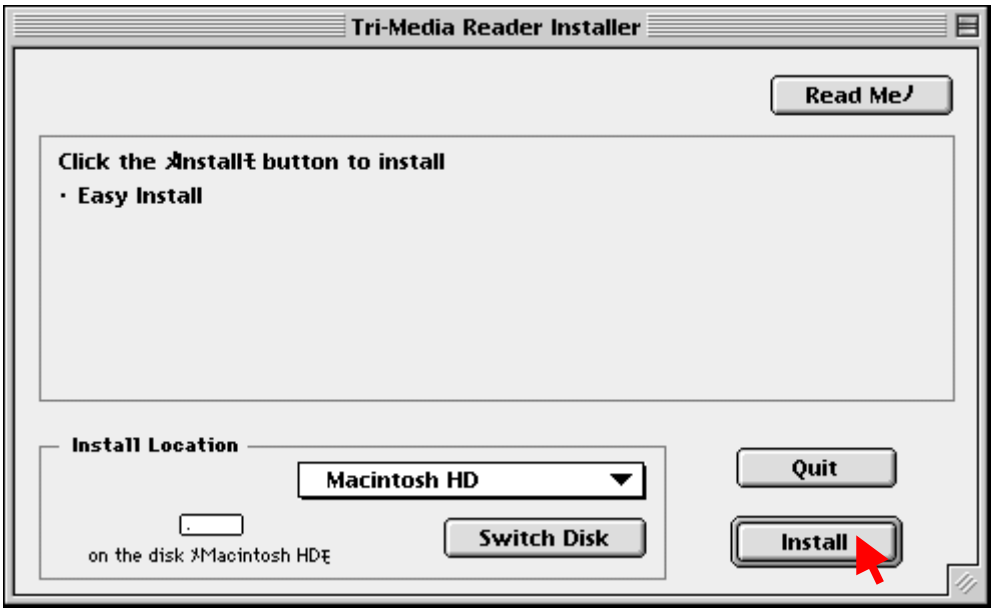
1) Mac OS を起動して下さい。
2) Driver CD-ROM を Macintosh の CD-ROM ドライブに挿入して下さい。CD-ROM を挿入すると、ＣＤ－ＲＯＭのウインドウが自動的に開きます。もし開かない場合は、CD-ROM のアイコンをダブルクリックして開いて下さい。
3) Tri-Media Reader Installer のアイコンをダブルクリックして、起動して下さい。

4) インストールソフトの起動画面が表示されますので Continue ボタンをクリックして次に進めて下さい。

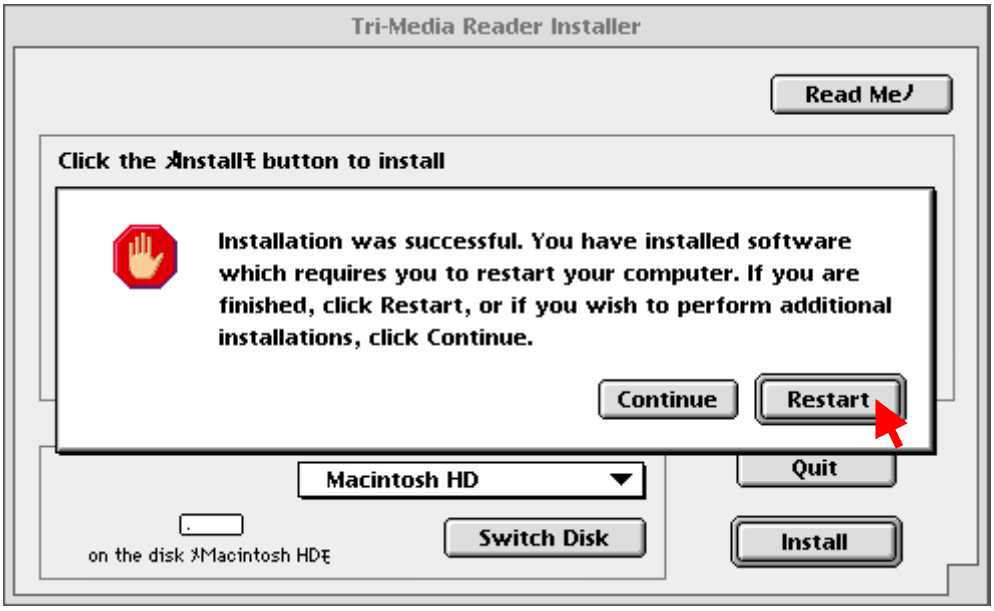
5) 英語で説明が出ますが、内容はこの説明書と同じです。Continue ボタンをクリックして次に進めて下さい。



6) Install ボタンをクリックしてインストールを開始して下さい。インストール先を起動したハードディスクと別なハードディスクに変更する場合は、Switch Disk ボタンをクリックして Install Location を目的のハードディスクに変更してから、Install ボタンをクリックして下さい。



7) 下記画面が表示されれば、インストールが正常に終了しました。Restartボタンをクリックして、Macintosh を再起動して下さい。



8) Mac OS が再起動しましたら、トライメディアリーダを、Macintosh 本体の USB コネクタへ、USB ケーブルで接続して下さい。キーボード上の USB コネクタへ接続すると動作しませんので、必ず Macintosh 本体のＵＳＢコネクタへ接続して下さい。

2.2. 操作方法

1) メディアの挿入

トライメディアリーダへ、スマートメディア 、コンパクトフラッシュ 、フロッピーディスク等のメディアを挿入すると、デスクトップ上に、メディアに対応するアイコンが表示されて、アクセス可能になります。

フロッピー
ディスク

スマート
メディア

コンパクト
ディスク

初期化されていないか、認識出来ないフォーマットのフロッピーディスクが挿入されると、以下のような表示になります。

初期化を行っても良い場合は、初期化ボタンをクリックして初期化して下さい。通常は、取り出しボタンをクリックしてから、ディスクを取り出して下さい。

デジタルカメラをお使いで、スマートメディア 、コンパクトフラッシュ を挿入して、上記画面が出た場合は、メディアが壊れています。取り出しボタンをクリックして取り出して下さい。初期化を行う場合は、出来るだけデジタルカメラで行い、Macintosh では、初期化を行わないようにして下さい。Macintosh で初期化を行いますと、フォーマットの仕様の違いから、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

2) メディアの取り出し

トライメディアリーダは、ドアロック機構や、オートイジェクト機構は付いていません。メディアを取り出す時は、下記のアンマウント操作を行って、デスクトップ上からアイコンが消えたことを確認してから、行って下さい。

アンマウント操作は、メディアをドラッグしてごみ箱にドロップ（メディアのアイコンをごみ箱の上に重ねて、ごみ箱が黒く反転表示になってから、マウスボタンを離す操作）するか、メディアのアイコンをクリックしてから、ファインダーの「特別」メニューから「取り出し」を選ぶことで行います。
アンマウント操作を行わないまま、いきなりメディアを取り出しますと、ハングアップや、メディアのデータが壊れることがあります。

フロッピーディスクと、コンパクトフラッシュ は、取り出しボタンを押すことにより、取り出せます。スマートメディア は、取り出しボタンはありませんので、そのまま引き抜いて下さい。

3) ＵＳＢケーブルの接続と取り外し

ＵＳＢケーブルの接続は、必要になった時点で自由に行えます。ＵＳＢケーブルの取り外しは、２）の説明に従って、予め全てのメディアをアンマウントしてから、行って下さい。

メディアをアンマウントしないままで、ＵＳＢケーブルを抜きますと、ハングアップや、メディアのデータが壊れることがあります。

4) IBM 社のマイクロドライブ

ＩＢM社のコンパクト PC カード型ハードディスクであるマイクロドライブもお使いになれますが、大きな電力を必要としますので、お使いになる場合は、単体で使用して下さい。

マイクロドライブと他のメディアを同時に挿入しますと、電力不足の為に、ハングアップすることがあります。マイクロドライブを挿入する時は、予め、スマートメディアとフロッピーディスクを取り出して下さい。また、マイクロドライブを挿入中は、スマートメディア やフロッピーディスクは挿入しないように注意して下さい。

5) スリープ

トライメディアリーダは、Macintosh のスリープに対応していますが、出来るだけ、スリープ前にメディアのアンマウント操作を行うことをお勧めします。また、お使いの Mac OS のバージョンや Macintosh の種類によって動作に支障がある場合があります。この場合は、スリープ前に、全てのメディアのアンマウント操作を行ってから、ＵＳＢケーブルを取り外して下さい。

スリープ中は、メディアの挿入や取り出し、ＵＳＢケーブルの抜き差しは行わないようにして下さい。

特に、ノートブック型の Mac では、スリープ中にＵＳＢケーブルの抜き差しを行うと自動的にウエークアップする為に、意図しない電池の消耗や、ハードディスクの起動が発生しますので、持ち運び時には、必ず、全メディアをアンマウントしてから、ＵＳＢケーブルを取り外して下さい。

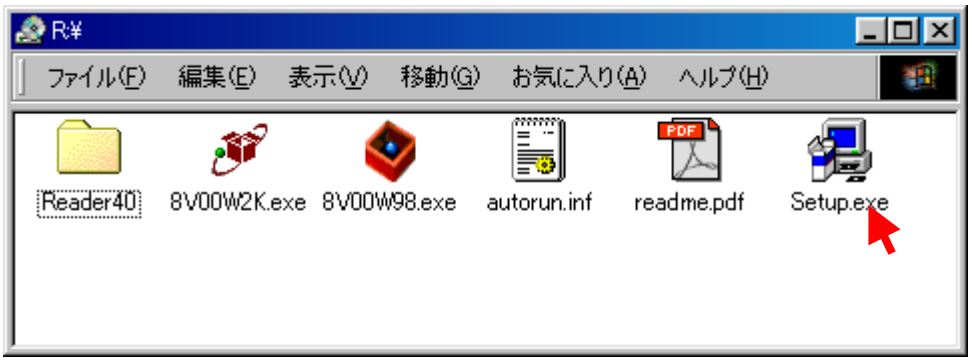
3. Windows PC でお使いの場合

トライメディアリーダのＵＳＢケーブルを Windows PC に接続する前に、ドライバソフトウエアをインストールする必要があります。インストーラは、Windows 98 / Windows Millennium Edition (Me) / Windows 2000 を自動判別して、必要等ライバソフトウエアをインストールします。

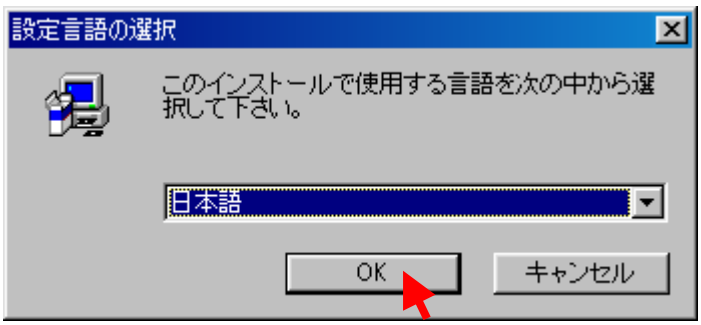
3.1. Windows 98 (SE) / Windows Millennium Edition (Me)でのインストール

Windows 98 では、インストール中に、Windows のインストール用 CD-ROM が必要になる場合がありますので、手元に用意しておいて下さい。

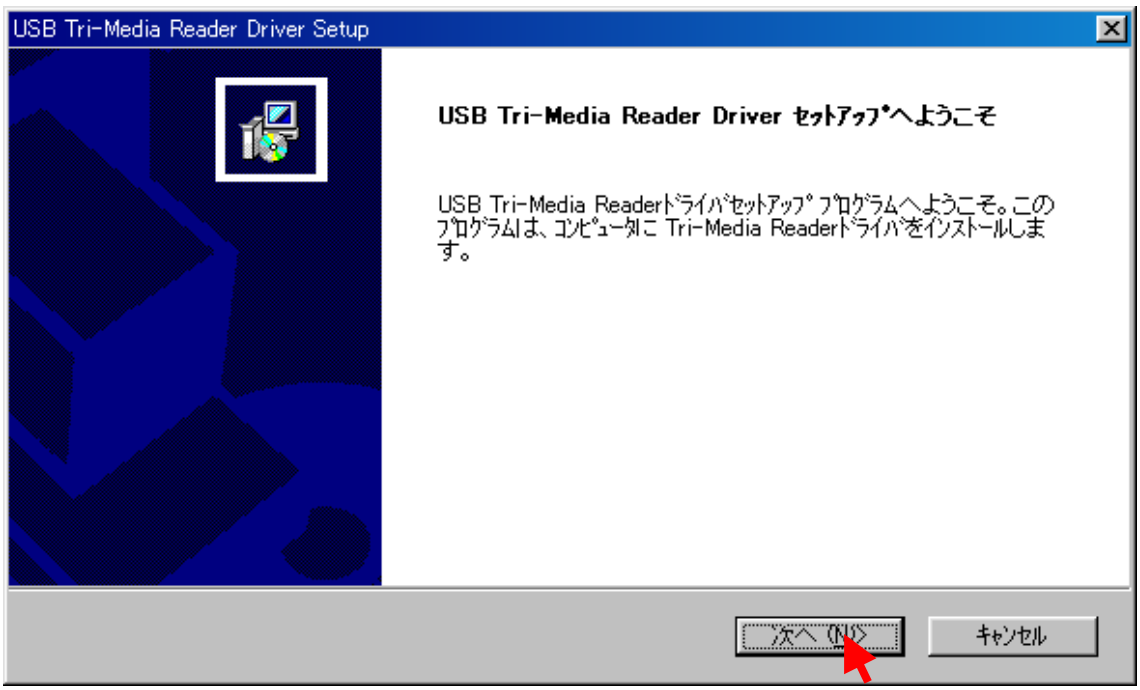
1) Windows PC の電源をオンにして Windows が完全に立ち上がったことを確認して下さい。
2) ドライバＣＤ－ＲＯＭを、ＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入して下さい。しばらくすると、インストーラが自動起動します。
   ＣＤ－ＲＯＭの自動起動を設定していない等の理由で、インストーラが自動起動しない場合は、CD-ROM 内の Setup.exe のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動して下さい。



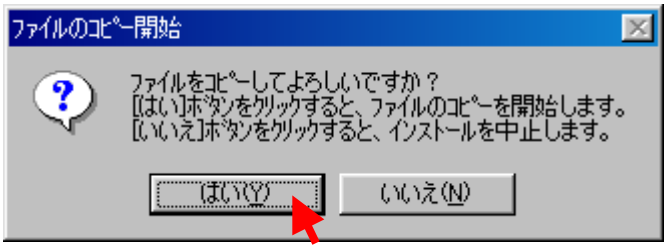
3) インストーラが起動しますと、以下の言語選択画面になります。日本語と英語が選べますが、通常は日本語を選択して、ＯＫボタンをクリックして下さい。



4) 次へボタンをクリックして、進めて下さい。



5) はいボタンをクリックすると、必要なファイルのコピーが始まります。

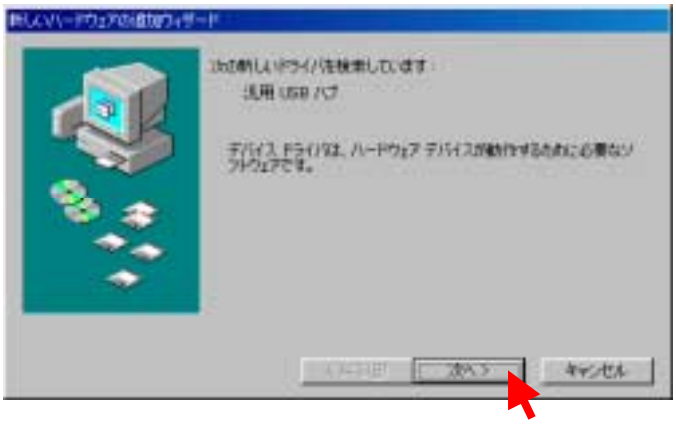


6) 以下の表示が出れば、必要なドライバソフトウエアのコピーは終了しました。
完了ボタンをクリックして下さい。

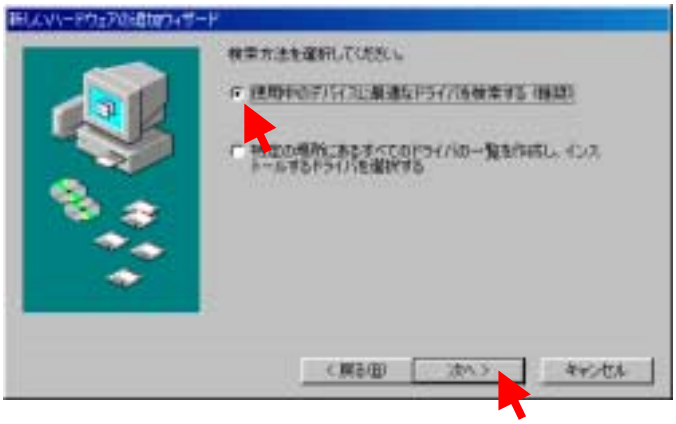
7) 注意事項がメモ帖等のテキストエディタで開きますので、目を通していただいた上でメモ帖等を終了させて下さい。

8) トライメディアリーダの USB ケーブルを、Windows PC に接続して下さい。Windows は、自動的に、トライメディアリーダを認識して、新しいハードウエアの追加作業が自動的に行なわれます。

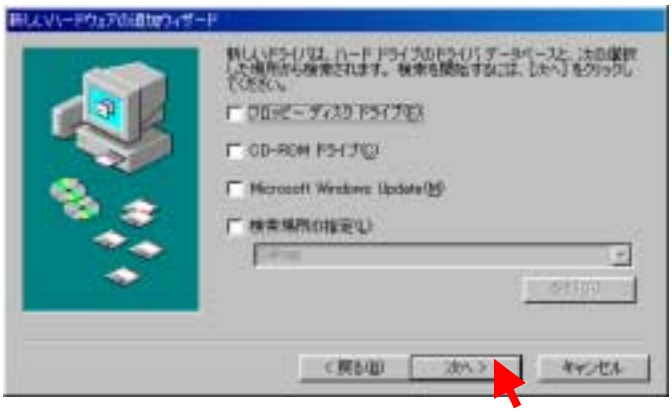
9) 一部の Windows 98 ＰＣでは、新しいハードウエアの追加ウイザードで、「汎用 USB ハブ」の検索画面が出る場合があります。この場合は、以下の手順に従って、「汎用 USB ハブ」のドライバを Windows 98 CD-ROM からインストールして下さい。



次へのボタンをクリックする



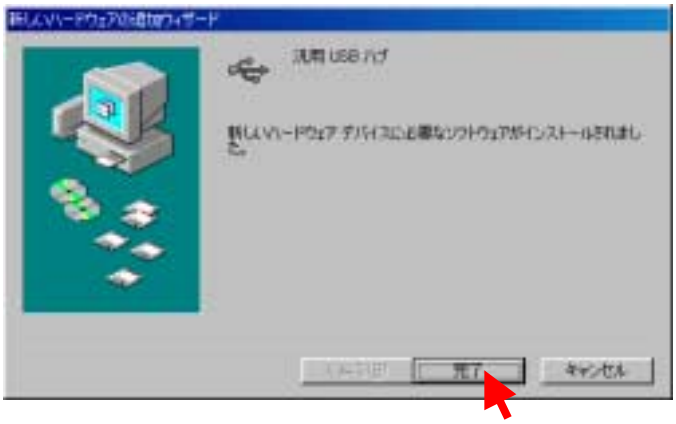
「使用中のデバイスに最適等ライバを検索する」を選択して、次へのボタンをクリックする。



Windows の標準ドライバで動作しますので、検索場所の選択のチェックマークレは、全て外した状態で、次へのボタンをクリックして下さい。

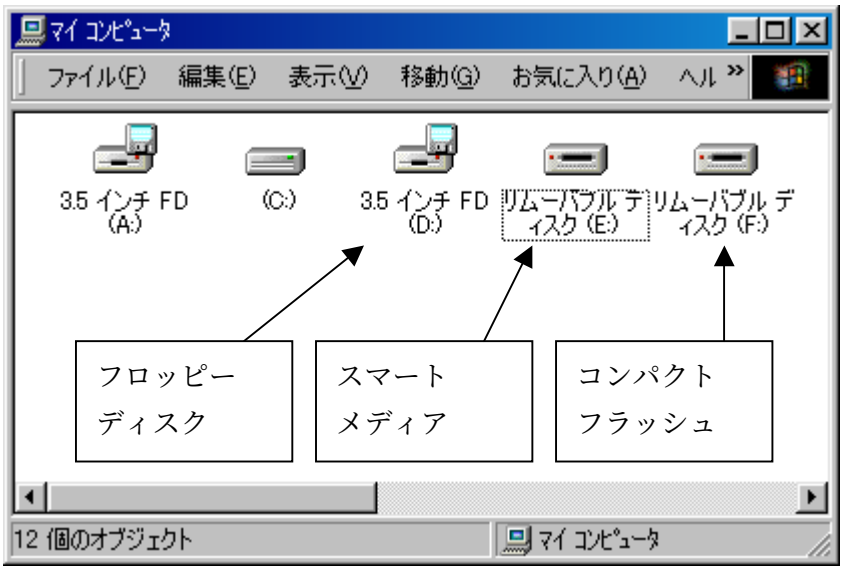
次へのボタンをクリックして下さい。

ここで、Windows 98 CD-ROM の挿入を要求される場合があります。その場合は、Windows 98 の CD-ROM を挿入して下さい。



完了ボタンをクリックして、汎用ハブのドライバのインストールを終了して下さい。
続けて、USB FDD 等のインストールが自動的に始まります。

10) 数分後、全ての機器の認識が終了しましたら、マイコンピュータに、3.5 インチフロッピーディスク１つと、リムーバブルディスク２つの合計３つのドライブアイコンが追加されます。リムーバブルディスクは、ドライブ名が前の方がスマートメディア™用となり、後ろの方が、コンパクトフラッシュ 用となります。これで、インストールは終了です。



ご注意
ドライブＡは内蔵 FDD です。

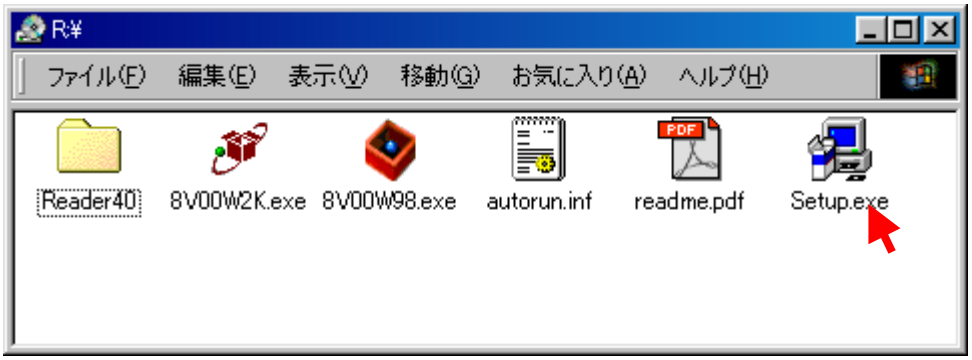
ドライブ名は、お使いのＰＣの環境により異なります。

3.2. Windows 2000 でのインストール方法

トライメディアリーダのＵＳＢケーブルを接続する前に、ドライバソフトウエアのインストールを行う必要があります。

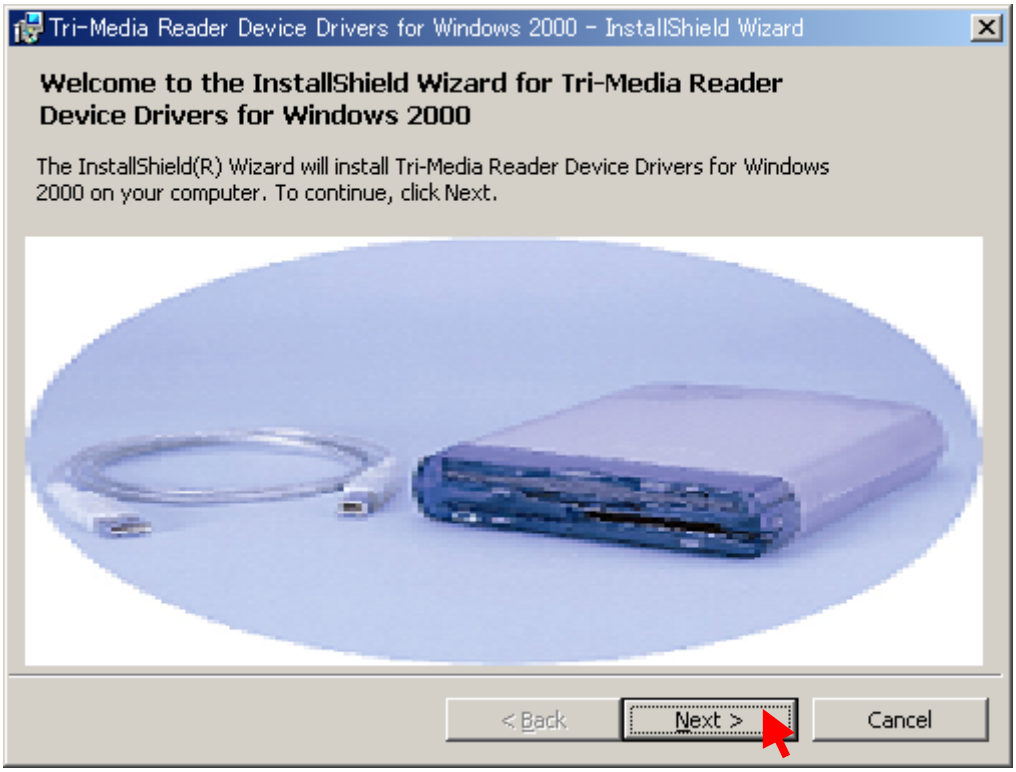
Windows 2000 のインストーラは、英語バージョンですので、インストール中の表示は英語となりますが、ドライバソフトウエア自体は、日本語 OS に対応しています。

1) Windows PC の電源をオンにして Administrator 権限のあるユーザ名で Windows 2000 にログオンして下さい。
2) ドライバＣＤ－ＲＯＭを、ＣＤ－ＲＯＭドライブに挿入して下さい。しばらくすると、インストーラが自動起動します。ＣＤ－ＲＯＭの自動起動を設定していない等の理由で、インストーラが自動起動しない場合は、CD-ROM 内の Setup.exe のアイコンをダブルクリックしてインストーラを起動して下さい。

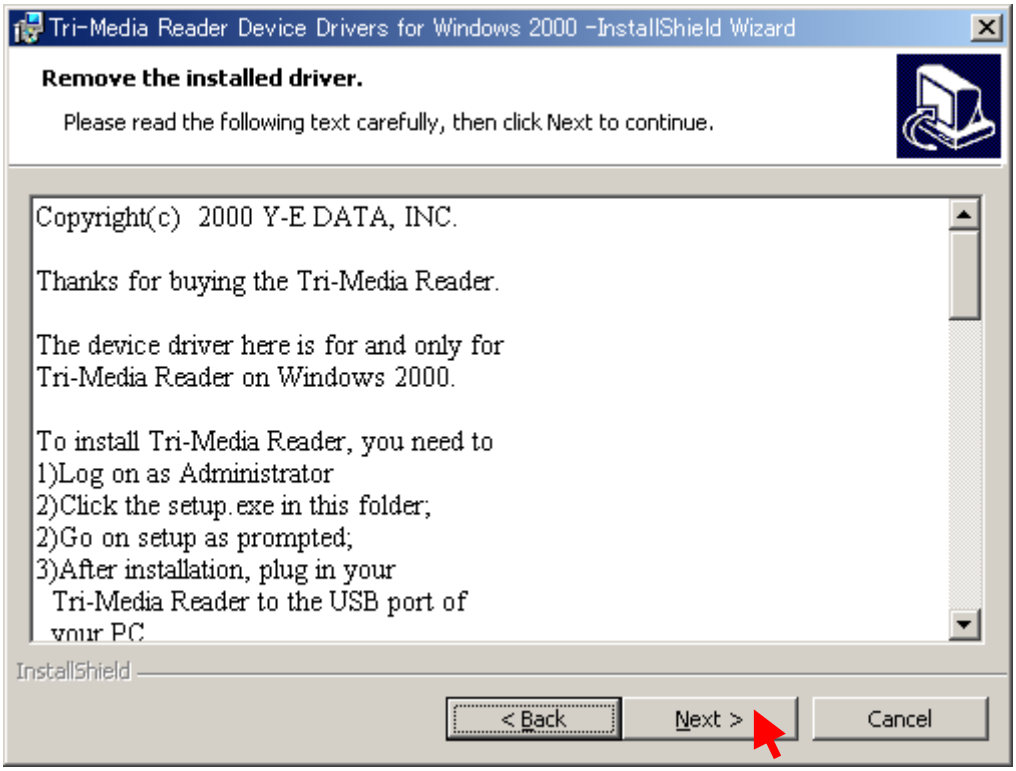


3) インストーラが起動しますと、以下の画面となります。Continue ボタンをクリックしてインストールを進めて下さい。

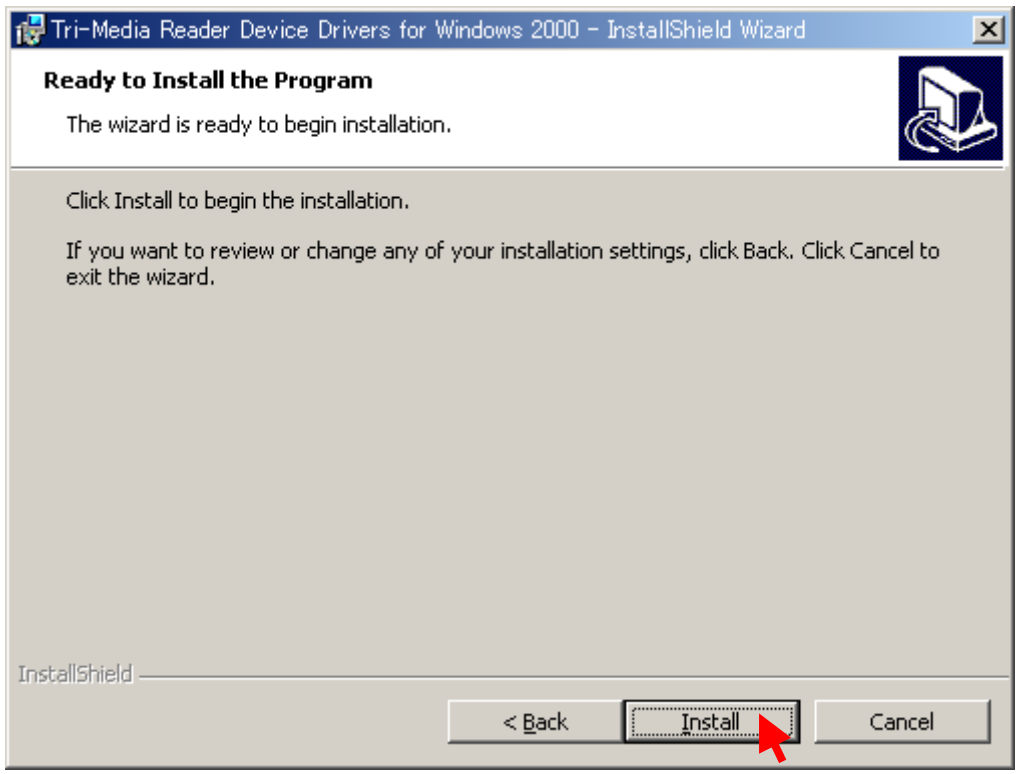
4) Next> ボタンをクリックして、次に進めて下さい。



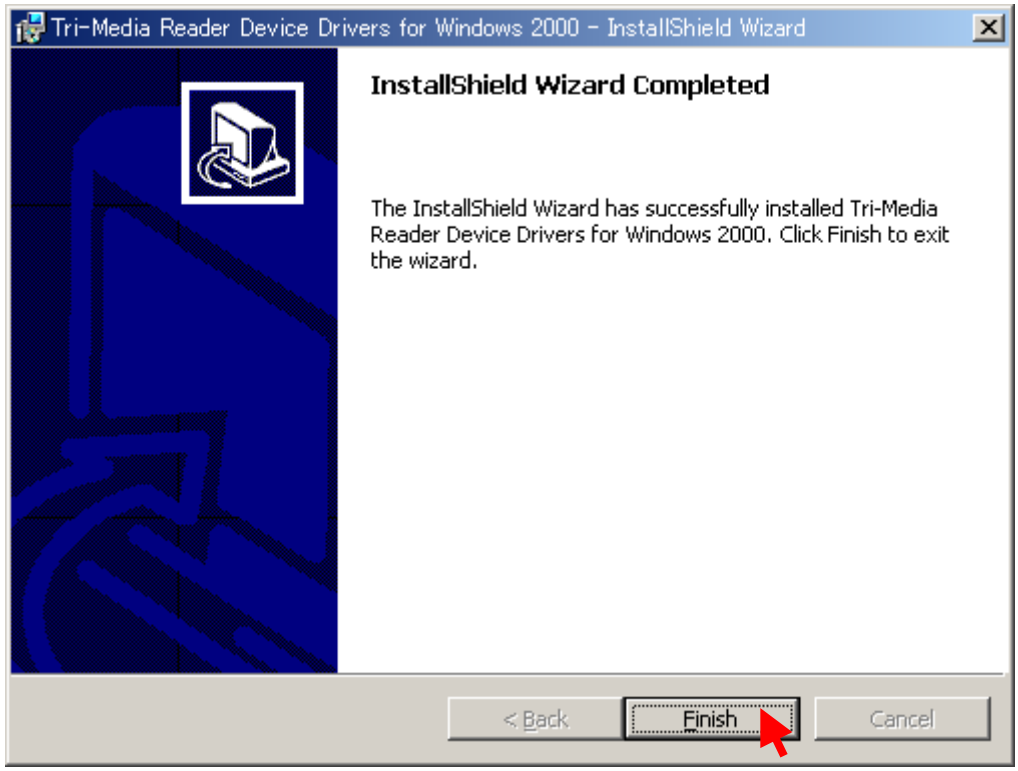
5) 英語で説明が出ますが、内容はこの説明書と同じです。Next>ボタンをクリックして次に進めて下さい。



6) Install ボタンをクリックして、インストールを開始して下さい。

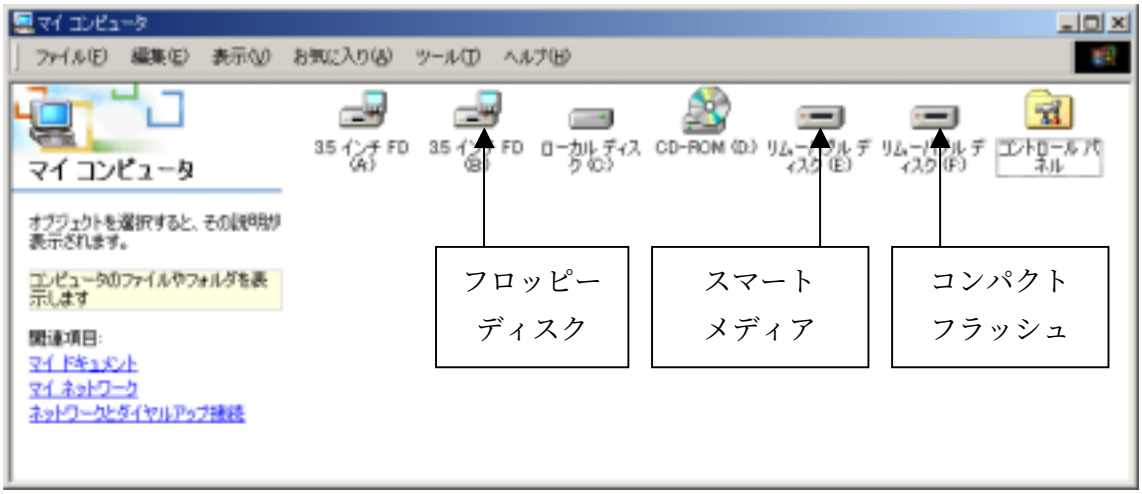


7) Finish ボタンをクリックしてインストーラを終了させて下さい。



8) トライメディアリーダの USB ケーブルを、Windows PC に接続して下さい。Windows は、トライメディアリーダを自動的に認識して新しいハードウエアの追加作業を自動的に行います。

9) 数分後、全ての機器の認識が終了しましたら、マイコンピュータに、3.5 インチフロッピーディスク１つと、リムーバブルディスク２つの合計３つのドライブアイコンが追加されます。リムーバブルディスクは、ドライブ名が前の方がスマートメディア™用となり、後ろの方が、コンパクトフラッシュ 用となります。これで、インストールは終了です。



ご注意）ドライブ名(B:)等は、お使いのＰＣの環境により異なります。

3.3. Windows での操作方法

1) メディアの挿入

メディアを挿入してから、マイコンピュータの該当のアイコンをダブルクリックすると、メディア内のデータが表示されます。

2) メディアの取り出し

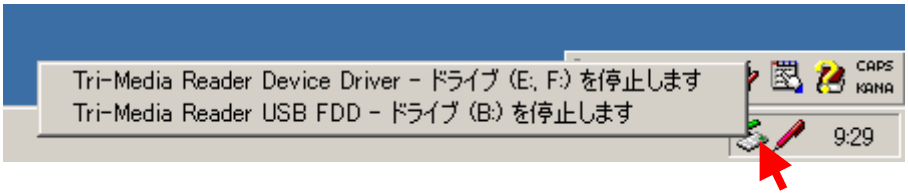
メディア内のファイルをアプリケーションで開いていたり、ファイルのコピーをしていないことを確認してから、メディアを取り出して下さい。また、画面上ではコピーが終わったように見えても、実際にはアクセス中の場合があります。取り出し前にアクセスランプが完全に消えていることを確認して下さい。アクセス中に、メディアを取り出しますと、青画面になったり、メディアのデータが壊れることがあります。

3) ＵＳＢケーブルの接続

ＵＳＢケーブルは、電源をオンにする前か、Windows が完全に立ち上がってから、接続して下さい。Windows の起動中に接続しますと、正しく認識できない場合があります。USB ケーブルを接続してから、マイコンピュータに３つのドライブのアイコンが全て出るまで、１分程度かかります。

4) ＵＳＢケーブルの取り外し

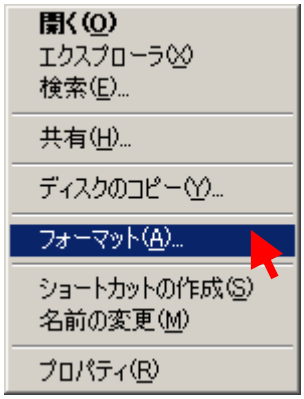
全てのメディアを取り出してから、ＵＳＢケーブルを取り外して下さい。Windows 2000 では、タスクトレー内の取り外しアイコンをクリックして、Tri-Media Reader の Device Driver と USB FDD の両方を停止してから、ＵＳＢケーブルを取り外して下さい。



5) メディアのフォーマット

メディアのフォーマットは、マイコンピュータから、該当するドライブのアイコンを右クリックして、メニューからフォーマットを選択して行います。

デジタルカメラをお使いの方は、Windows でフォーマットを行うと、フォーマットの仕様の違いから、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。スマートメディア 、コンパクトフラッシュ をフォーマットする場合は、デジタルカメラでフォーマットして下さい。



6) IBM 社のマイクロドライブ

ＩBM社のコンパクPCカード型ハードディスクであるマイクロドライブもお使いになれますが、大きな電力を必要としますので、お使いになる場合は、単体で使用して下さい。

マイクロドライブと他のメディアを同時に挿入しますと、電力不足の為に、ハングアップすることがあります。マイクロドライブを挿入する時は、予め、スマートメディアとフロッピーディスクを取り出して下さい。また、マイクロドライブを挿入中は、スマートメディア やフロッピーディスクは挿入しないように注意して下さい。

7) スタンバイ

Tri-Media Reader は、PC2000 規格のスタンバイ機能をサポートしていますが、全てのＰＣのスタンバイをサポートしている訳ではありません。お使いのＰＣにてスタンバイ動作で不具合が発生する場合は、スタンバイ前にＵＳＢケーブルを取り外して下さい。スタンバイ中には、メディアの挿入、取り外し、ケーブルの接続、取り外しは行わないようにして下さい。

4. 仕様

4.1. 機械仕様

	項 目	仕 様
本 体	外 形 (突起含まず)	113±1 mm (幅) × 152±1 mm (長さ) × 33±1mm (高さ)
	質 量	385 g (TYP)
	色	フロントベゼル : NF グレー ケース : フローズン ホワイト
	本体材料	ABS
	足材料	CR ラバー
ケーブル	長 さ	約 700 mm
	外皮材料	PVC
	色	フローズン ホワイト
	ケーブル線径	28 AWG
	ケーブル仕様	28 AWG 1ペア

4.2. 電気仕様

項 目	仕 様
電源電圧	DC 4.40 V to 5.25 V
消費電流	500 mA (TYP) *3
取得規格	UL、 cUL、 CE、 FCC-Class B、 VCCI Class B

*3 マイクロドライブ使用時を除きます。
電源電圧 5.0 V で、一般的なフロッピーディスクを使用した場合です。

4.3. 環境仕様

項 目	動作時	非動作時
温 度	5 ～ 40 ℃	-40 ～ 60 ℃
湿 度	30 ～ 80 %RH	結露しないこと
最大湿球温度	29 ℃	--------
振 動 掃引時間 : 5.6 分 試験時間 : 各方向 10 分 掃引方向 : XYY'	9.8 m/s^2 (10 ～ 200 Hz) (1.0G) 4.9 m/s^2 (200 ～ 500 Hz) (0.5G)	19.6 m/s^2 (10 ～ 500 Hz) (2.0G)
衝 撃 衝撃方向 : XYY' 衝撃回数 : 各方向 20 回	49 m/s^2 (11 ms ハーフサイン波) (5.0G)	980 m/s^2 (11 ms ハーフサイン波) (100G)
静電耐圧	IEC 61000-4-2 厳しさレベル3に準拠	

5. 取扱い上のご注意

1) トライメディアリーダは、生産工場にて精密に調整されている、精密機器です。落下したり振動、衝撃を与えますと故障の原因となります。
2) トライメディアリーダを持ち運ぶ時は、フロッピーディスク、スマートメディア 、コンパクトフラッシュ の全てのメディアを取り外して下さい。メディアを挿入したまま持ち運びますと、故障の原因となります。
3) コンパクトフラッシュ 、スマートメディア をフォーマットする時は、デジタルカメラで行うようにして下さい。トライメディアリーダでフォーマットを行うと、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。
4) コンピュータの電源を入れるときは、予め全てのメディアを取り外しておいて下さい。
5) スマートメディア を挿入する時は、金色の端子が下側になるように挿入して下さい。
6) スマートメディア で、読み取りエラーが出る場合は、金色の端子が汚れていないかご確認下さい。
7) メディアを取り出す時は、アクセスランプが消灯していることを、ご確認下さい。コンピュータの画面上ではアクセスが終わったように見えても、ＯＳのキャッシュ機構や遅延書き込み機能で、実際のアクセスが終了していない場合があります。アクセス中にメディアを取り出すと、データが壊れたり、故障の原因となります。
8) 著作権で保護されたデータは、コピーしないようにして下さい。違法となる場合があります。
9) トライメディアリーダは、ＩＤ付きスマートメディア のＩＤ情報はサポートしていません。ＩＤ付きスマートメディア は、通常のメディアとしての使用は可能です。
10) フラッシュパス等の、フロッピーディスクアダプタは、サポートしていません。
11) コピープロテクトされたフロッピーディスクは、トライメディアリーダでは読み取りできない場合があります。
12) トライメディアリーダのフロッピーディスク、スマートメディア 、コンパクトフラッシュ からは、コンピュータを起動できません。
13) 常駐型のウイルスソフトをお使いになると、動作が異常に遅くなったりハングアップしたりする場合があります。この場合は、トライメディアリーダのメディアをチェックの対象から外して下さい。
14) Windows PC にて、古いＵＳＢ ＯＨＣＩコントローラのＰＣの場合、動作が異常に遅くなったり、ハングアップしたりする場合があります。この場合、Windows 98 SE 以降にバージョンアップすると、改善できる場合があります。お使いのパソコンのメーカに問い合わせて下さい。

6. 技術サポートの問い合わせ先

技術情報、最新ドライバソフト等の公開先	http://www.yedata.co.jp/support (日本語) http://www.yedata.com/support (英語)
電子メールでの問い合わせ	mailto:support@yedata.co.jp